第3回山国作業部会議事録

開催日時：令和8年10月14日　13時30分～15時00分
開催場所：山国社会福祉センター　多目的室

参加者数

グループ	A	B	C	D	E
人数	4名	5名	5名	4名	4名

- ①第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の関連付けについて

  第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」が列記された模造紙と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の紙を用意。それぞれ関連があると思われるものを関連付けた。

- ②①の列記されたタイトルの中から4つ選抜

  第1回作業部会で出された「地域にいる人達」や「地域の強み」を列記した資料を参照しながら、そういったものを活かしながら自分たちで取り組めるもので今後5年間、取り組んだ方が良いものをグループで4つ選抜。

  それぞれのグループでどれを選択したか情報共有を行った。

- 選抜されたものについて、具体的にどのような取り組みを行うか

  ②で各グループが選択したものを取り組む際に、実際、どのように取り組んでいくかをグループ毎に検討した。

出された意見

タイトル	内容	吹き出し
サロンを話す場として大切にしたい	趣味や健康等住民が興味を示す内容を企画する	サロンと週一体操を合体してみては
	食事会をする	サロンの新規加入が難しい
	旅行にいく	若い人を誘い込むには休日がよいが、休日は休みたい
	新しい人に声かけをする	遠方のお出かけはトイレの心配（1時間位がいい）
	バスでのお出かけと帰りに買い物をする	年間計画を他のサロンと一緒に考えるといろんなアイデアがでていい
	防災・健康等サロンの重要性を広める	人が少ない
	若い世代が参加する	若い人のサロンは夜ならできる
	小さい隣近所の集まりを作ってい	転倒やケガが心配

	く	
	縁側サロン、壁なしサロンを作る	意識的に集まる
	若者が参加しやすい環境づくり	若い人達が集まるとなると、日中仕事をしているから時間が取れない
	サロンの内容に魅力をつくる	公民館に集まるほど人がいない
	サロンに若者を増やす（つなげていく）	サロンは平日なので、若い人が参加できない
	近所づきあい声かけをしてサロンに誘う	サロンが主催で芋煮会、食事会、飲み会をして若者を誘う
	年に数回、サロンを土日祭日に開催して若い人を誘う	
世代間を通した交流会をしたい	連休に合わせて行事計画を行う(お花見、どんど焼き、スポーツ大会等)	スポーツはケガが心配だが、eスポーツなら世代間で楽しめる
地域行事の継承	移住してきた人も参加しやすいように声かけをする	資金が足りない
	外に発信して町外の人を呼び込む	若い人や子どもが少ない
	クラウドファンディングをして資金を集める	地区の行事が減っている
	しめ縄、どんど、神楽等地域行事に若い人に参加・協力してもらう	継承だけではなく、復活させたい行事もある
	できる限り、今ある祭りを続ける	
日々の見守り声かけ	自分の住んでいる近辺の家を訪問する	地域内だけでも声をかけあうといい
	ユニホームを作って訪問する（怪しい人と思われないように）	見守りネットワークを周知していると訪問がしやすい
	情報を共有する（認知症の方の情報を共有する）	地区の人の就寝場所を把握している（いざという時のために）
	山国地区全体に見守りネットワークを作る	
	車で通る時等会った人に声かけをする（素通りしない）	
	両隣に声かけをしてその輪を地域全体に広げていく	
	道や田んぼで見かけた人に積極的に声かけをする	
防災の意識を高める啓発をする	避難の呼びかけを早い段階で行う（まずは電話を使って）	知識を普及しに来てほしい
	公民館単位で防災の講話にて学	日頃から消防団とも関りを持つとい

	習をする	い
	消防団との話し合いをする	家族の電話番号とか緊急連絡先を踏み込んでしっかりと聞く
	サロンで防災訓練等する	防災士に地区の集会に来てもらい、防災に関する話をしてもらいたい
	台風等事前に分かるものは前もってみんなに周知する	消防団員が不足している
	地区の集まりの時に全国の災害事例を共有し、自分たちの地区に置き換えて話し合う	地域の若い人の力を借りる
	防災訓練を地区で実施する	地区の連絡網を毎年更新する
	ハザードマップ等を活用し防災意識を高める	訓練の後に地区のみんなで楽しめることをする（ゲーム等）
若い世代にやさしい山国	子ども達に手を振ったりし、地域の優しいおじいちゃんになる	子育て中の親世代に優しくする
	若い人を地域行事に誘う	若い人と仲良くする取り組み
	行事に若い人の意見を取り入れて、変えていく（変えることを恐れない）	対話とか出会う機会をつくる
	若い人にスマホ教室をしてもらう	
みんなで健康	体操が一番、公民館を拠点に歩数を図る（ポイント制）	家でテレビを見ながら体操をしている
	男の料理講座を開催する	興味に合わせて行事に誘う
	公民館での栄養講座をする（食育）	ペタンク大会をする
	週一体操のない地区は新たに作る	歩こう会に参加する
	週一体操のある地区は積極的に参加を呼び掛ける	
	公民館にウォーキングマシーン等の健康器具を置く	
	体力づくりの行事に参加する	
地区リーダーを育成したい	特技を活かせる地区行事を行い、若い人を呼び込む	高齢化が進んでいる
	地区の行事で次世代（60代）に活躍してもらう	一度リーダーになると役職から逃れない
	飲み会でつながりを作る	今のリーダーがいい手本を見せる（後継者がしやすいように）
	地元に戻ってきた人達にも声をかけて地区のことに関心を持ってもらう	コロナ以降は飲み会が減った

若者が帰ってくる移住してくる田舎づくり	若者に米、梨、つまもの、畑、山林等でビジネスになるようなものを提案していく	草刈りオリンピックをしてみたら
	廃校や空き家等地域にある建物をオフィスや店舗等への利用をアピールする	
	地域の魅力を再発見して、若者やグループ等でSNS等で発信していく	


B


D